

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	堀毛一也	所属	東洋大学
研究会等名称	ポジティブ心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 16名 (うち認定心理士 名) 非会員 21名 (うち認定心理士 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、ポジティブ心理学に関する研究発表を通じて、ポジティブ心理学の発展および研究者の交流を促すことを目的としている。本年度は下記の通り 12月9日(土) 10日(日)の2日間にわたり、第一回ポジティブ心理学研究会を開催した。</p> <p>実施内容：</p> <p>12月9日(土) 場所：東洋大学白山キャンパス 6号館3階 6309教室 14:30～14:45 司会挨拶 14:45～15:45 菅原大地(筑波大学) 「ポジティブ心理学と臨床心理学の接点を探る」 16:00～17:30 【特別講演】島井哲志(関西福祉科学大学) 「Character strengths を用いた介入に向けて」</p> <p>12月10日(日) 場所：LMJ 東京研修センター 10:00～11:00 芳賀道匡(日本大学) 「学生のソーシャル・キャピタルとウェルビーイングの心理学的研究」 11:15～12:15 金子迪大(東洋大学) 「日々の幸せは持続するか：感情持続研究からの検討」 12:15～13:15 昼休み 13:15～14:15 鷹阪龍太(東洋大学) 「適応的な自尊感情を求めて」 14:30～15:30 片岡雅知(東京大学) 「未来の幸せのために今の幸せを犠牲にして本当にいいのか？」</p> <p>成果：</p> <p>第一回にもかかわらず、40名近い参加者が集まり、研究会や休憩時間、懇親会では活発な議論が行われた。日本におけるポジティブ心理学の活性化に寄与したと考えている。</p> <p>将来計画：</p> <p>第二回の発表希望者も出たため、継続して研究会を開催する予定である。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
第1回ポジティブ心理学研究会				
研究集会開催日： 2018年 12月 9日(土) ～ 10日(日)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	堀毛一也	東洋大学	○	
2	金子迪大	東洋大学	○	
3	鷹阪龍太	東洋大学	○	
4	菅原大地	筑波大学	○	
5	喜多島知穂	慶応義塾大学大学院		
6	大久保慧悟	ディップ株式会社		
7	阿部望	同志社大学	○	
8	佐藤俊雄	東洋大学	○	
9	柳原透	拓殖大学		
10	上野雄己	早稲田大学		
11	嘉瀬貴祥	立教大学		
12	小口孝司	立教大学		
13	松原公望	東京大学	○	
14	沼田真美	筑波大学	○	
15	肖知雨	筑波大学	○	
16	神谷透	(株) ミネルヴァ書房		
17	吉野優香	筑波大学	○	
18	島井哲志	関西福祉科学大学	○	
19	原田鈴彦	社会人		
20	大村太郎	社会人		
21	倉矢匠	東洋大学	○	
22	小越凌	東洋大学		
23	保坂幸男	北多摩クリニック		

24	谷辺哲史	東京大学	○	
25	野田龍	慶応義塾大学		
26	片岡雅知	東京大学		
27	櫻井純子	慶応義塾大学		
28	真船浩介	産業医科大学	○	
29	大竹恵子	関西学院大学		
30	吉野優香	筑波大学	○	
31	菊地りえ			
32	大下京子	早稲田大学		
33	柳屋道子	秋田大学		
34	斉祥子			
35	芳賀道匡	日本大学	○	
36	吉岡有紀子	相模女子大学		
37	齋藤沙織	帝京平成大学		
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

(様式5)

2018年 3月 12日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 ポジティブ心理学研究会

研究会番号 研17023

助成金額 ¥40,000

年月日	項目	金額
2017年12月9日	交通費・宿泊費	¥40,000

---

支出合計 ¥40,000